

理科(物理・化学・**生物**・地学) 北海道大学 総合入試【理系】、学部入試【医・歯・獣医・水産】

<全体分析>

試験時間 2科目 150分

解答形式

記述・論述・選択

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

大問数は例年通り4問であり、小問数や論述量もあまり変化がなく、全体の分量は昨年並みであった。また、内容的にも昨年同様に標準的な問題がほとんどであり、難易度も昨年並みであった。

出題の特徴や昨年との変更点

例年、知識を問う問題と考察問題がバランスよく出題され、標準的な問題が多い。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 論述 選択	生殖 発生 遺伝子	生物	問5-2 核移植に用いた細胞と核移植によって発生した個体でバンドのパターンが完全に一致することと、反復配列がホモになっているかヘテロになっている場合があるかで判断する。	標準
2	記述 選択	生殖 遺伝	生物	問6 $Aa$ の個体が形成する花粉のうち遺伝子型 $a$ のものは退化花粉となり受精できないことに注意する。	標準
3	記述 論述 選択	ホルモン	生物基礎	問8-2 (キ)には「フィードバック」が入るので、(オ)と(カ)には成長ホルモンの分泌を調節するホルモンが入る。	標準
4	記述 論述 選択	進化 生態	生物基礎 ・ 生物	問4-2 個体が学習を行うだけの過程は、遺伝的な変化を伴わないので、進化には含まれない。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・教科書レベルの基本的な知識を身につけ、その内容を正確に論述できるように練習を重ねよう。
- ・標準的な問題の演習を重ねよう。
- ・過去問などの演習を通して、北大の出題形式に慣れておこう。